



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

UAE: GCC 通貨統合離脱に関するアブドゥラー外相他のコメント (5月23-24日付現地報道)

24日付現地英字紙各紙は、ロイター及び UAE 国営通信社 (WAM) をキャリアし、GCC 通貨統合離脱に関するアブドゥラー外相及び中央銀行スウェイディ総裁のコメントについて報じている。概要は以下の通り。なお、23日付ロンドン発行シャルクル・アウサト紙は、湾岸筋の話として、対立解消に向けた努力は始まっており、今週にも通貨統合への UAE の復帰及び「GCC 全体の力に UAE の離脱が反映することを恐れて」対立の封じ込めに向けたハイレベルでの外交努力が行われていると報じている。

1. ロイター通信に対するアブドゥラー-UAE 外相 (故ザーイド 18 男) のコメント

- (1) 条件が異なるのであれば、(GCC 通貨統合への) 再参加について前向きに検討する。現時点での条件は UAE にとって受け入れられるものではなく、我々はそのために不参加を決めた。
- (2) 昨年まで UAE だけが GCC 中央銀行の誘致をしていた。UAE は中央銀行のホスト国になると思われていた最初の国であり、UAE にはホスト国となる権利がある。しかしそうはならなかった。他の参加国は昨年まで中央銀行のホスト国になることについて何も触れてこなかった。最初の 4 年間で UAE のみが同銀行ホスト国候補であったのであり、これが現在我々の置かれている状況である。

2. ドバイ TV に対するスウェイディ UAE 中央銀行総裁のコメント

- (1) 中央銀行をリヤドに設置するとの決定は政治的なものであり、主要な国際金融機関が UAE に支店を構え、湾岸地域における海外送金の 50% が UAE にてなされている事実を無視するものである。
- (2) 中央銀行の設置場所のみが UAE が通貨統合への不参加を決定した理由ではない。その他にも通貨評議会の役割が研究の実施に限定されている点等 UAE が挙げた保留事項はあるが、これらは見過ごされている。